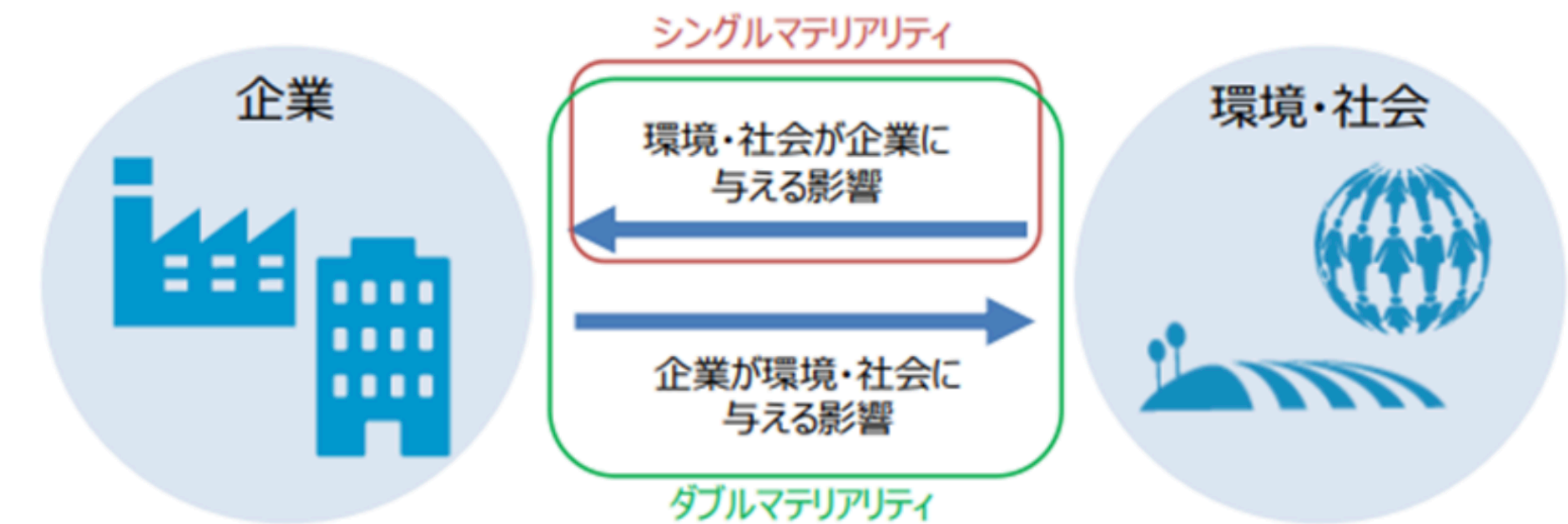
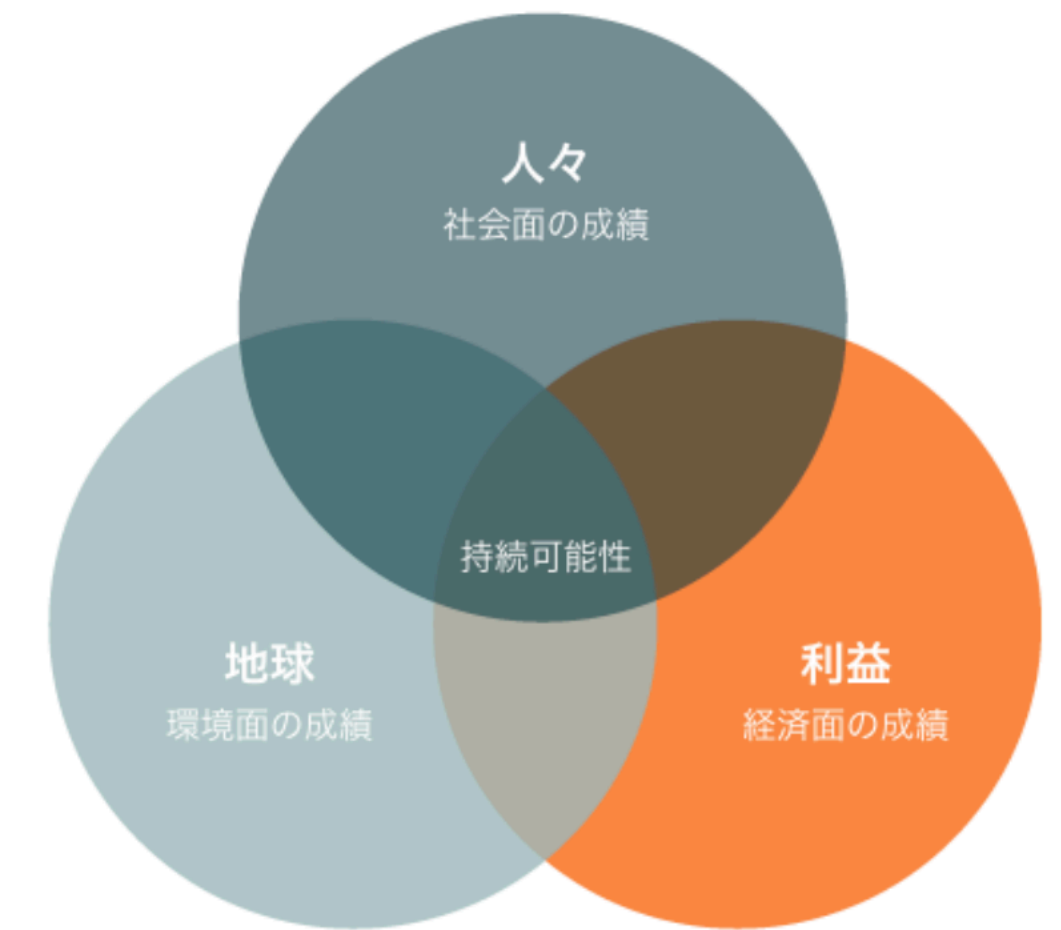


- **大きな全体のゴール：** 持続可能な世の中（環境、社会、経済）
 = 「現在の世代が自らのニーズを満たすだけでなく、将来の世代が自分たちのニーズを満たすために必要な環境、社会、経済的リソースを維持することができる社会」
- **企業の持続可能性への貢献方法：** 全ステークホルダーの利益をバランスよく考慮
 - 株主、顧客、取引先、社員、地域社会、政府機関、地球環境、将来世代
- そのために非財務（サステナビリティ）情報の開示が重要な手段であるものの、
 統一的なフレームワークは現状なし
 - スコープの違い：TCFDは気候変動のみ、CDPは環境のみ
 - マテリアリティのフォーカス：TCFD（⇐）、GRI（⇒）など
 - 包括的か業種別のアプローチ：GRIは包括的基準、SASBは業種別の基準
 - 時間軸のフォーカス：
 事業や組織が生み出す一連の流れ「インプット → アウトプット → アウトカム → インパクト」
 - ESGのパフォーマンス：インプットからアウトプットまでの計測値
 - ソーシャルリターン（インパクト）のパフォーマンス：インプットからアウトカム・インパクトまでの計測値



事業や組織が生み出す一連の流れ「インプット → アウトプット → **アウトカム → インパクト**」

非財務情報の開示
フレームワーク

**非財務情報開示フレームワークの内、
インパクト計測を含むもの**

インパクト計測にフォーカス

TCFDなど

GRI, SASB

[貨幣価値に換算]

IWAI, VBA

[貨幣価値に換算しない]

IRIS (GIIN), GIIRS